かり兩岸近く迫る

岸近く迫るところ早朝 十分より下隅海峡にか

の中にも拘はらず数十哩の間

刊

印 間 壁 明 報 行

A A A

タル

了同日午後三時の調査によれ。正日正午を以て死体の財容埋三日正午を以て死体の財容埋三日正午を以て死体の財容埋

九七、八二四五一四五一四

四、三二、七七五四、三二六十五六十五十二、七七五

人事往來

一四五

壞中壞等を合し 九九〇

三、八三八六四八五五四一

一五、二五七七、八六〇 二五七七、八六〇

たぶく、驚くりり なの超特急いよく 五月一日

日五十二月四

破符所

TAVANNES

TRUSTY 原中谷時計启默

應急處置完了

死者三千百八十二

五名

△ △ △ △ △ △ △ △ △ △ 臺新家 臺新牛 臺新家 臺新行 臺 布中析量合中析量合中析量合中析方合中 州州大 州州家 州州全 州州不 州計 破計 屋計 遺計 明計

五六九、二〇八九七九、二九七七五

合支部設立に反對、生活權擁 護を叫べば相方に理あり

制度 定本 金貨 便蘇

行为

臺灣震災

0

一、四一五

も背髄、喜三郎親分いやなら 審議會へ入る入らぬで政民又

= 公八人总说明什

なし

いやとはつきりしては如何

官民堵列奉迎送の 關門を通過歸途に 新文在原南部/ 新文目日新聞社 新文目日新聞社 人、松 本 勇 人、一 河 榮 惠

尚多少の變動あるものと認め 素の死亡調査の進行等に伴ひ 財況は大体完了したるも重傷 財子の死亡調査の進行等に伴ひ

皇帝陛下 御機 嫌 御 麗 は

歷史的 御 通峽 1

陽門を西行、六時卅三分六連島御通過玄海の彼方に艦歩を全く没した、此のB犬氣晴朗波靜かにして陽門の天地は歴史的御【門司國通】皇帝陛下御召艦比叡は午輸五時四十七分朝靄を衝いて無車陽門海峽を御通過あり、盛なる牽迎を受けられつゝはらず數萬の官民堵列し熟誠なる率送迎の意を表はす陛下御機螻細麗はし比叡艦長廿五日午前七時設、駐攜海軍部發表―午前六時比叡、十二驅逐歐下ノ關海峽通過、沿岸十數哩に亘り早朝なるに拘比叡艦長廿五日午前七時設、駐攜海軍部發表―午前六時比叡、十二驅逐歐下ノ關海峽通過、沿岸十數哩に亘り早朝なるに拘

鮮経由約一ヶ月の豫定で赴日海線及び奉天に各一泊の上朝海線及び奉天に各一泊の上朝

番議會參加問

民の意

H

小豆大の小粒

電点は北洋の深い海底に機を平月腰の 三魚で、鱈を餌食とする關係上ヴィタミン人Dをその肝臓内に自然に警費し て居るのです。それから造られた小豆 大のハリバー筒には實に一茶匙の肝油 に相當するヴィタミンが均等に含まる だのやうに生臭い大量の油を表した。 までのやうに生臭い大量の油を表した。 ながら服用するに及ばずその何十分の ながら服用することになりました。

三十日

更に芸

と言はれ注目を惹いてゐる、 朝夜の對北安竈向打診の爲め 財子の動植の氏命を受け日本 社張經理は病氣の爲め出酸を尙同行の筈であつた東方旅行 孔子祭列席の

大會並びに孔子祭列席の中國八日より卅日に亘り東京陽島八日より卅日に亘り東京陽島 北平出發

り出され全國 ・別権し凡

「東京國典」

・本観光デーを催し東京をはじめ全國二十五都市が参加してめ全國二十五都市が参加して

觀光デ

全國的

雰園氣が醸成された 特され舞臺のお園振りと相俟 ので真に観際親夢に相應しい 来各國の競演に移り東京國際 本各國の音樂舞踊が華やかに 本各國の音樂舞踊が華やかに

本輔仁大學教授倫明氏、劇作家張次溪氏及び故宮博物館員陳厚吉氏の四氏は通譯澤中西一助氏を伴ひ二十三日午後入時十五分北平發列軍で滅鮮經 を特別優遇して居る、東京では午後六時から日比谷公會堂 で観光の夕を開催し内田鐵相 で観光の夕を開催し内田鐵相 で観光の身を開催し内田鐵相

量より質の時代

求の結果は、翻肝油よりもではあり、「量より質の濃厚なもの」

すぐ冗談でも云へるほどに親しすぐ冗談でも云へるほどに親し ってあるも相違するものだらう みの持てるのが小思議だつた。 身内でありながら、性格によ

にあった妊娠の部屋になってあるこで、自然の部屋になってある に爬る気にはなれなかつた。そ

一様に、二階の大学に映るのだった。秋章機構のメリンスの番いった。秋章機構のメリンスの番いた。 だが、今夜はすぐ味と一緒

5 若水 絹子作

誤解された純情=岩水桐子

((電土成上語 第3)) 作

地ではなれないのだった。 りはなれないのだった。 りないとのだった。 りないとのだった。



『かぜ』を引き易い、鼻や『のど』が犯される……………を水とは タミンADの蓄積量が減少又は缺乏した」が、病医に對する抵抗力が障碍と た」が、病菌に對する抵抗力が障碍と たった結果現象である…………と言ふ ので、呼吸器の弱い人はしまりも先づ ので、呼吸器の弱い人はしまりも先づ がイタミンADを多量に嫌成すること が「保健の第一棵」となつて居ります。







五時三十分より下陽海峡にか五日午前五時部岬沖に達す同五時部岬沖に達す同五時部岬沖に達す同 頭峽に歡喜す 平穏な御航海を繼載遊ばされ 世級の一路大連に向ふ、玄海 皇帝陛下には御機嫌こは

駐滿鄉軍部發表—比叡艦上午

十五分阿多田島東方海面に ・一世殿搭載機數十機の率迎 ・一世殿搭載機數十機の率迎 於て第一潜水戰隊の皇禮和 整つて潜水艦の潜航作業を 都覽遊ばさる、本艦は費定 の如く午後一時宮島沖漕在 加せる第一艦隊は鴻耀怖登 司令官、鈴木廣島縣知事、

打ち振り萬歳を唱へ在港船舶熟心な市民堵列し日滿國旗を

工場は汽笛を連吹し奉迎送

の他汽艇にて奉迎す、斯くてをなす驅岡、山口雨縣知事そ

らる、棧橋より社前まで沿 道官民多數の率迎送を受け させられ神社御参拜後直に 御勵艦、陛下には本朝來聊 か御風邪氣味にあらせられ か御風邪氣味にあらせられ 柔の御催しあり 上ぐべき接件員を召さ の審議會参加希望に迷惑をかからなる。 全然相容れぬ狀態にあるが、一をめぐつて政民剛黨の立場は、 十四日の雨派連緊委員

の建論から更も角も卅日の會 に 合で右間題を更に蒸し返し協 離と観てゐる、然し政友會が 離骨に倒閣に狂奔せざる間は な情報を観である。然し政友會が は一個閣に狂奔せざる間は は一個ないから

は たものと斯界各方面では見做 一、又財界の人々とも會見し が ず、單に形骸を止めるに至つ 御實現を期することが ず、單に形骸を止めるに至つ 御實現を期すること が ず、單に形骸を止めるに至つ 御實現を期すること か ず、單に形骸を止めるに至つ 御實現を期すること

することとし卅日再會合の國策の檢討樹立の参考に資

ッ審議會には

絕對不參加

鈴木總裁西下

上人選其他を決定すること

▲奈良師範學校生七十七名二十五日午後一時五十分發南十五日午前七時十分發南十五日午前七時十分發南十二名二十六日午前七時十分發南十二名二十六日午前九時四十分發京公學校生七十二名二十七日午第三中國七十二名二十七日午前九時四十分發東1十七日午前九時四十五分發來了同日午前九時四十五分發來了同日午前九時四十五分發來

出席の爲め 國際觀光會議 耳り歌談を交へさせ

政民連繫員會合

審議會問題ミ連繫方針協議

・ 桃山参拜のため廿四日夜西下 したが

に快病になれることだった。

「え」、あんた先にお休みなさ

と、云つたま」、眺からとし

からなると、人間なんでもの

議出席労々日本鐡道事業視察事京に開催される國際観光會東京に開催される國際観光會 殷同氏赴日

のため該鐵路局技術員數名を議出席等々日本鐵道事業視察

関ウ後の連繋方針等に就て意思、 関ウ後の連繋方針等に就て意思、 関ウ後の連繋方針等に就て意思、 関連たる内閣審議會に對する處 が表がな」に會合して當面の問 を動かな」に會合して當面の問 を動かな」に自合して當面の問 を動かな」に自合して當面の問 を動かな」に自合して當面の問 を動かな」に自己で表面の問

兩黨変員間に握っ と、し同十時年散 と、し同十時年散 と、し同十時年散

審議會参加問題については 個人が勧誘に來られても御 自身の清算が先決問題だ と語つた 外務省辭令

とにかく、残悪によつて、今ととなるなっそして、その幸職を観りたことを、米りは、無対の幸職に思って、今、

であつた無特ちが、急に概き風

された時に感じてゐた。

とだと思った。

は自分として納めて観見したこあるのだらうかで歩くも、これ

からもはなったれされることがは、その様手の選びがによって

米海軍建艦豫算半減

小務事務官 尾形 昭二 小務事務官 バウロフスク在動を

その日く れ、御召籃比叡一路西下、御風邪の氣味も輕

海軍當局

の見解

乗を使す 動ら動きもの、迷妄の徒に覺 を使す 動のもの、迷妄の徒に覺

員會が海軍豫算に對し削減を 行び新艦艇職造改裝費二千九

意味するものである併し乍 が、要するに建設置を減額 が、要するに建設置を減額 が、要するに建設費を減額

で新く減額したものがた動態的は、 大力のだからこれ以上 がた動態能力の関係を がた動態的のではなく がた動態的の関係を がた動態を がた動態を がた動態がある。

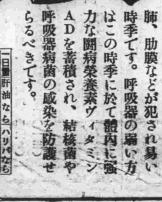
99

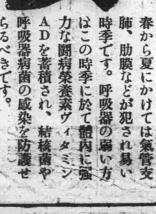
一つたぞうに、かべの端れ だった。そこには少しのかげる そして今にも何か良いことが が、今日駅ひがけなく従妹が自 起りさうな郷帯に充ちた無持ち 分遣の限の前に現れてからは、

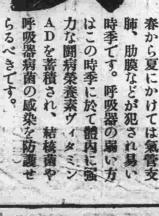
田

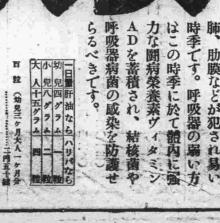
一学品までは、Bに田に自分の たが、しかし、それは難しく顕 たが、しかし、それは難しく顕 なが、ことを自分でも顕めてる たが、しかし、それは難しく顕













國際愛に破れ

同られる

一般の利便が

構成り二十五日から開館する 準備を進めてるたが髂般の散

大橋次長招宴

花

0

五月新譜!

太郎

を運賃は百卅五

飛行場内に郵便

際盗ぎりぎり

樹てて

スタートす

会新制度量衡器の販賣者に對 る新制度量衡器の販賣者に對 と器具の觀念、法規その他全 般に直る必須智識を徹底させ るため廿五日午前十時から記

ら 前 報 間 間 面の人口 白 茶町 岡書 自 瀬町 万

外不断の領職権と御支援の程切に御顧申上ます

愛撫御引立を受け感激に堪ず各位様の御誘めによ

川洋行在動中は永年に砂り皆々様の絶大なる御

今般合資會社岡本健商店として開業致し全補御

郵便物は出發間

ロシア娘悄然歸る

ける新京驛頭の

じらしさ

場所 新京神社 (午前十時 十時半から正午まで

東京 郵便機出發、五

航するスーパー 六十二圓であると

へ人乗旅客機) ・ユニバーサル

外交都次長大橋忠一氏は二十外交都次長大橋忠一氏は二十外変都次長大橋忠一氏は二十四日午後七時からへ定刻より四日午後七時からへ定刻より成立に至る各新聞通信の勢を成立に至る各新聞通信の勢を

四百八十馬力六

の二十七日か

日間

休み續き

春酣にサラリーマン萬々蔵

満鐵社報でも示

達

ででいるからからている。

半集合)西公園へ

開戦

帝風球場に匂ふて絶好の野球

'(可認物便郵種三第)

回新京野球 會

交通相の鮮かな 観衆グラウンドを埋め盡し 亦絶好の野球日 幕開

るや丁滿洲國交通部大臣によ 四時! で選手散會、やがて定刻に移 切つて落委員長の試合注意あり、一先 術策を秘委員長の試合注意あり、一先 術策を秘明の返還、本社々長代理松 道軍淺香主將の手によつて優 か八チームの主將の手により な場所端に立てられた棹頭高 時になる日滿兩國族の掲揚が 場である日滿兩國族の掲揚が 場である日瀬南國族の掲揚が

中村、井杉兩烈士記念碑

六月卅

日除幕式

空の超特急新

午後一時から同所會議室で衛 新京地方事務所では五月六日

態よ五月

新京、東京間郵便物一

日速達

度運衡講習會

1、公元、公二

一一日から新京東京間直通航路中へに表して完全に 中へ定刻より三十分遅る)ヤーマトホテルに隣東軍交通関があり之に對し来賓を 大中佐紀群を招き披露を行つたが席 を代表して交通監督部山瀬航空 兵中佐紀群を述べ寛いで歌続空 兵中佐紀群を述べ寛いで歌続空 兵中佐紀群を述べ寛いで歌続空 兵中佐紀群を近、寛いで歌続空

謹

告

本

健

日満航空に新紀

双性 一は、强豪響應 現、兩々高鳴る闘志に必勝の 意、一は精雄中 では、現豪響應

開始を宣告する、時に戦機球では白線を描いて試合 會初頭に相関ゆる場に漲つて凄愴の氣濃く本大

白菊小學校

行ひ、後忠魂碑に参拜し神前にて野外演聴會を催 鯉のぼりを行び運動會を

六日正午發はとで赴任の途に館桝谷秀夫氏は家族同伴二十年の途に

新京附属地の

委員、區長、地方事

は、警察、満職 保健所、地方 の事務所各關係 の事務所各關係

二十四日満洲里日本居留民會高端別國外交部辦事處、ソ聯個の蘇灣震災の罹災民に對しての蘇灣震災の罹災民に對して

102 CE 定

印

刷

衛生委員會

員からの提案に 係長ら各衛生委

| 大売豆

この主に

人愛の發露にいたく感激し

航空會社催宴

者はこの

人愛の發露にいたく感激してが進められてゐる模様で當局が進められてゐる模様で當局者はこの國境を超越した、隣

合 社资

雙

發洋

行

EE=

AAA

=== 三二四

るので當日の盛況が偲ばれる 桝谷安東領事 明日赴日 千鳥の曲、さ

等の中島、大橋、中西の諸師の中島、大橋、中西の諸師を山師の司會で開催される、強強計算の主要の中島、大橋、中西の諸師を出版の中島、大橋、中西の諸師を出版の中島、大橋、中西の諸師を出版の中島、大橋、中西の諸師 匠と大連の富森、遼陽の寺田 日本山妙法寺の

化開宗の聖日を迎へるため二る日蓮宗日本山妙法寺では本 る日蓮宗日本山妙法寺では本市内永樂町三丁目一番地に在 唱題お通夜

新京神社の手洗 新京神社

が業想される

た鉢、玉垣の位 た鉢、玉垣の位

祝町西本願寺で ・ 株の子とり六段の調、本曲 ・ 株の子、春の海、本曲 ・ 株の子、春の海、本曲 ・ 株の子、春の海、本曲 ・ 株の子、春の海、本曲

都山流尺八の

包含

くら變烈曲、夜々の星、

U

十七日午後八時

會鑑室

元三八五

春季演奏會

同寺で例會を催す 南は二十五日午後七時半から も 新京花街の連 日夜と翌二十七 出演者は何れ 日夜記念公會

よく明二十六の勢好會合同春年の藤波會、杵

佛教青年會

けふの銀相場

即で日の出を拜いて日の出を拜 習會 で氏子總代會を開催

現大洋對學票 國幣對 金票 110円10候

満洲里から

臺灣震災義捐

簡易保

金額(円)

金額(ロ) 三、04、4公司 二、14、4公司 1、4人1、14 2人1、14

1、七天、二九六 1、七天、二九六 1、1、七天、二九六 1、1、七天、二九六

d

一 形型

品度支御の春

賣特大柄新ルセ本の春期夏春

二十五 部一の品仕奉大 モガネガ仕木英名本モ本

スールー 全総本 友でネゼー 着着 着 か、本格と 他メーマー 三十日まで

積

大賣

出

尺キキキ衣地地帶立地仙

○○一十十二 三 三三

是吳服

天長節祝賀會開催

四月二十七日 盤五十銭也へ會勢と引換に申受く) 野京地方事務所庶務係 (二〇一三) 午後四時迄

新京地方事務所長

主

資 合

五人六話電

內洋家家 **货**家料具

室和建洋原

番五二電海月明 部材木 七六町上尾北道線 楊 工

作 0 流 行

連 載「雪之亟變化」主題歌 らさき小唄 益 發 好 評以 の來 彌次喜多行進曲東海の顔役

朝朝

一旦版図過第者の必携業! S

◇海 川 料 品料理ず 理◇

度ぢやよ、誰だ「シャボテび出しを書き出すのは良き

を無温

新京ダイヤ街 5 B

五月五日を中心に開かれる見事務所では各學校その他と連事務所では各學校その他と連本べく計費中のところ日時場よべく計費中のところ日時場 毎日午後一時半より午後 一日日午後一時 五月三日(火)三日間

▲幼見の

優良兄表彰式

申込は四月三十日まで地方 五月十七日午後一時から

いろし 兒童愛護行事决定

情を結ぶにいたつた、有富冑の青年有富光門君(二八)と でも

アタシ有富のフマですその 言まじりで語る かれるものやら

二、週間中野外運動並に郊で、端午節句への鯉のほりを行ひその下で体育會茶話會を催す

科の檢査施行

り、日満航空に一断尼元と別 急新ダイヤを實現する事とな が程と云ふ楽晴しい空の超特

を訴へるため後を追ふてさる 十五日門司までいつたが彼女 は水上層にストップを命ぜら れ生爪をはがれる思ひしてつ ひに一面披に送りかへされ二 十五日午前八時五十分新京に 到着九時二十五分列車で涙に つたお子さん方に族および一般幼兒のための催し、集幼稚園見および同程度以下 ▲見童の會 | | A、五月三日四日雨日間午 | 後一時より同三時まで、 | 後一時より同三時まで、 一番地(警察署隣)関東一番地(警察署隣)関東一条四時まで、中央通十一条四時まで、中央通十一条四時まで、中央通十二条四時にの一条の関東局保健所

四日間のお休みはどんなもの 限つての大きな喜びでこの際 に対する後等に 十八日が日曜、二十九日が天十七日が靖國神社臨時大祭二 はお休みが四日間もついく二サッリーマンよ喜べ!この月 京忠震塔の招魂祭當日だ に三十 日がわが新

新は全く本極りになったわけだ ら筆を、 が三十日はわが新された。これでとうせなったわけだ。 が三十日はわが新された。 が三十日はわが新された。 が三十日はわが新された。 が三十日はわが新された。 が三十日はわが新された。 が三十日はもが新された。 が三十日はもが新された。 が三十日はもが新された。 が三十日はもが新された。 膨脹振りが見られるが、特殊 ・ いの方面でも関都の著るしき ・ いの方面でも関都の著るしき ・ は、配達は二萬九千通に上り ・ は、配達は二萬九千通に上り ・ は、配達は二萬九千通に上り 物は一日平均引で取り 新京局から 國都の膨脹を見る

普通郵便一日六萬 五千通

國 失 宝 元 元 章

耐の後度量衡法要義、營業者 ・受業都大臣、趙權健局長の訓 の業者二百五十名に達し、張 ・受験を開催した、出席者は全滅

魚類は自信あり

きると君、泣いちやいけない

一だって、あんた、これが泣か

ないの?」

『悪寒が張いのね―― それぢゃ

「あく、彼奴は居廃りだ」

んなに苦勞して一緒になったのに 一等、どうしませら、折角、斯

丈夫?

るちやないか」

の方が供話がなくていくちゃない

一切つて、そ

一十六日 (金曜) 新京 (午前之部) (午前之部) 六〇〇 ラデオ體操 (滿語) 六三〇 初等 (大連) 六三〇 初等 日語 (大連) 九四〇 經濟市況 (大連) 八三〇 經濟市況 (東京) 八三〇 經濟市況 (東京) 一〇、五九 時 報(東京及大連) 一〇、五九 時 報(東京及大連) 一〇、五九 時 報(東京) (東京)

聞えたつて構はないわ、泣か

僕は辛い」

んに言波されたのは何人あつてしてれる。あんた、今日支配人さ

所し、他女は食事の仕度に立たう が飲みにして洋服をぬぎ始めた、

社へ入つて以来、びく

現代篇 かりの子さ「CIID

上禁上演

永田八浦關英太朗畵

紫

それでも以るい番茶を湯存みに

新礼

新大花ダ 苗朝顏種配布

ヤ菊

母 エルザ號

麗日ひろつたとよろこんで

「そんな悠長なこといつてゐら 今夜は一つ、ゆつくり後の うちやないか

こまあい」から、さ、涙をふい 既へお嫁にゆけないなんて敬か 取く聴すと思まれてい

がよ、姿が起して頂戯つてお絵 『馬鹿な ― 僕みたいない論優

ちやつたわ。安、除程院で考ね」 「あら、今のお話――何なの」

もんか。後ちゃん、君、その既は要願のい、男がくびになって握る

八四五 ニュース、経済市況 気象通報、番組4告 (減・語) へ、空域計 (減・語) 、、突城計 (減・語) 七、〇〇 靖國神社臨時祭招魂 一九段靖國神社招魂齊庭 より中機 ニュース

(東京)

できる。月給取はこれが一番

たら、変、もつと勉強して早く越 「いった、大いに帰席があると 矢殿妾が思かったのよ。勧忍 調がつてたんだよ もつと早く來る智だのに、どうし る番をまつ奴ないでせら 「そんなことはないさ、一同、 一国鹿にしないわれ、くびにな

たんだい

●二黒の人 物事を輕く見る のと丁と光が吉 両と丁と光が吉 大體を守りて進退すべき日 大體を守りて進退すべき日 ●三碧の人 手紙書付等人の ときは電外の失敗を招く日

御希望サ

最近建築 部 屋 四ツ サ戸の設備あり サ戸の設備あり サ戸の設備あり 大地 約三十年 アイトフ商會內 アイトフ商會內

カフェーを譲る御希望のお方申分なき目抜きのまゝ譲る御希望のお方申分なき目抜きの場所で數年來盛業

電話二五五四番へ

最近建築 部 屋 四ツ 七道溝八十八番地第城子街道四側

外務員募集 電話二〇一

一七番へ

付振部藝文一タクビ本日

三日午後四時四十七分死亡目五番地〉男季敏さん二十日五番地〉男季敏さん二十

▲佐藤新一氏和泉町から西三条・ ・ 本語の数島寮九十五號室へ ・ 本語の数島下のある ・ 本語の数とでは、 ・ 本語のから ・ 本語の ・ 本語のの ・ 本語のの ・ 本語のの ・ 本語の ・ 本語のの ● 所表明二丁目二番地へ ● 所表明二丁目二番地へ ● 所見一氏(神奈川縣) 大連 ・ のの間日通り十九番地朝日 ・ のの間日二十三番地へ ・ のの間子では、東京府)入 ・ 一丁目二十三番地へ ・ のの間子では、東京府)入 ・ 一丁目二十三番地へ ・ のの間子では、東京府)入 ・ ののでは、東京府)入 ・ ののでは、東京府)入

五三四一〇

せまり踊.うせまひ唄.で下の花は春

一、講演 スープ・

今一度前にまわく。 第十職 左足前進。 兩手は 同時に一回まねく。 かける。右手後ろ下方伸し。第八圖右足一歩後退。左 方伸し。方伸し。方伸し。

會席は

左足削進。兩手は

大な変象

即料理でおく輕に自慢の白鹿… りの値段で出來得る限りお勉めをさせて頂きます 御宴會。木

(五十人樣)ノンビリとした大廣間で 結婚披露宴は(支那料理)ソッチ ム

電話三九三六番

物見京新 店货店の性

、レコードにも詳細

解説明が添へてあります) おぼこ緒。踊り方

チョチョンガチョン

新京百貨店 掘 呉服·雜貨部 電話四八七六番 賣品 割 賣 より



り中 H

・すましたい難混は間夜 御を間塞るれなに

第一回 第二回 第三回 1,25 5.50 路 10.7 2.40 9.00 1 2,00 4.30

を 大四〇五 廿九日 連續興行 開演正午 階下一圓 世四ヨ日リ 階上一圓十錢 料金

開公テマ

類猿 田 馬權夫

第一、章 安康縣 第一節安廣縣勢一般 第一節安廣縣 あったが咸同年の遊牧地であつたが咸同年間始めて漢人移住し光緒三十一年に置縣され現在は龍江省南隅に位し東は大賽縣、西は洮南縣、南は乾安縣に夫々閉鎖縣、南は乾安縣に夫々間鎖縣、南は乾安縣に夫々

以上の如く安廣縣城は他に比以上の如く安廣縣城は他に比以上の納來を期待し得る、現地を距る北方四、五里の龍泉地は淡大線の豫定驛としてかなりの將來を期待し得る、現在人口三、〇〇人商工業戶二〇戸 査 太金一千圓以上なるは燒鍋(永安福)難貨商(同以上なるは燒鍋(永安福)難貨商(同以上なるは燒鍋(永安福)難貨商(同以上なるは燒鍋(永安福)難貨商(同以上なるは燒鍋(永安福)難貨商(同以上なるは燒鍋(永安福)難貨商(同以上なるは燒鍋(永安福)難貨商(同以上なるは燒鍋(水安福)難貨商(同以上なる。

四、平齊線は縣の東隅を南北に左の諸線がある。 五〇〇里 自縣城至郷家屯。五〇〇里

五〇〇里 一五〇里里

現大群對國 出 引 寄 出 火 高 出 火 高 出 火 高 出 火 高 出 火 高 出 光 高 記 票 3 元 本 本 本

を確認努力する事になった その基調すべき貿易の前途 に就ては全体として悲観す る験なく努力次第で伸び得ば る験なは充分なる事に異論 がなかつた

は支那の通貨の混亂に對しては支那の通貨の混亂に對しては支那の通貨の混亂に對して支拂準備が着々行はれてゐる。皆青木理財局長から報告する。

長い間この日英為替が強んを動揺しない事は丁度我がと動揺しない事は丁度我がと明確をその住民時に一致した。この為替の安定が今後であるとの意見に一致した。この為替の安定が今後であるとの意思を描へる事が特に地の要素を描へる事が特に地の要素を描へる事が特に

삈

七六五 七六五 八七六五四現 月月月●月月月 ●月月月月 ● 限限限同极限限险限限限限例同

品品

料

理

圓り

定

食

金壹圓五十錢

新京祝町ラミの北町

+

錢

五月十三日

本線務部長 北平十四日 漫園通 1 減緩石本 北平十四日 漫園通 1 減緩石 共に廿四日午前九時四十五分 共に廿四日午前九時四十五分 大田日滯在の上廿五日午後十

五月十二日限

新京取所

告

五日前場) 引况市

東東 東東物 (一石 東期 (混合 下)

日本高田来高田来高

京大線及關係地方

經濟事

情

展互源ン難貨商(永泰昌、 天增長)食料雑貨(水合成) の五軒で金融機關は無い 三、當地よりの移出品は少量 の特産と音流で移入品は麥 粉、砂糖、綿布、石油を主 とし何れも洮南及閉通方面 から属車によつて入市され て居る

一、もと蒙古科爾巡右雲前族 に屬し海朝の半緒十七年頃 漢人に開放されてより耕地 液人に開放されてより耕地 海に 改められ現在は龍江省 際に 改められ現在は龍江省 の管轄下に在る の管轄下に在る 高は洗泉河を以て洗安縣に 麓克岡王族四は突康縣と又北は札 藤上南は安康縣と又北は札

高數は牛、馬、豚、羊其他 高數は牛、馬、豚、羊其他

з

二四

=/

八九

三六

番

解農の水田經營であつて縣 が近の根興村外一ヶ所(六 家子)の昭和九年度作付個 積合計七〇〇町步其收穫高 一四、一〇〇石で洮南朝鮮 人民會に於ては之等各地の 水田開發に極力腐心して居 か今後は大いに開拓される

東亞興業の

0

潯鐵路 兀利償却協定成立

公債

時平漢線で漢口に向ふ豫定

一仙三大

土建ニュ

親に對し正金當局は左の如く 元利償却協定が成立したとの 「東京圏通」南灣鐵路公債の

止金銀行當局語

る

二三留比人分五二六留比人分三

三三四三 九九〇九 川川川田〇〇五 〇〇〇〇

第一 第三 回 買賣 對 第三 回 賣賣 對 三 回 買賣 對

第二回

子 八七六五四 月月月月 月月月月 限限限限 戸一 一

豆

產

地方事務所新京代用祉附近碎 地方事務所新京代用祉附近碎 高 井 組

小一三八留 一三八留 十二三八留 上 一三七留 比

場川川

▲大阪綿糸

商

未だ公電はないが成立した とあれば皺に喜ばしい事で ある、右公債の残存額は元 本九百三十四萬圓及十三年 間の利息釣四百八十萬圓で あり、これに延滯利子を附 すれば相當額に達するもの である、右公債は支那の公 である、右公債は支那の公 である、右公債に支那の公

現在一般の手持となつて居の規定に依つて行つて來たって記して元利の償還が行はれるとすれば恐らく抽籤の順序で一般情權者に支拂ふこと、なるであらう、對支借を、本なるであらう、對支借を、本なるであらう、對支借を、本なるであらう、對支債を、本なるであらう、對支債を、本なるであらう、對支債を、本なるであらう、對支債を、本なるであらう、對支債を、本なるであらう、對支債を、本は、表別の要理が漸次進步しい事

は 十萬圓、東亜興業百萬圓とな で 信権銀行の承認を求め正式に 決定する事となつた 年度割內容 鐵買收支拂金

資待

国 【東京國通】二十四日開催の 官民金融縣談會に於て青木理 財局長から報告された北鐵買 地安拂に關する資金の年度割 は左の如く總額一億七千四百 意圓で昭和十三年二月の支拂 を以て終るものである(單位 千圓、端數切捨)

明和十年 六四、〇〇〇 明月十二年 四十、〇〇〇 同十四年 二十、〇〇〇 同十四年 二十、〇〇〇 日十四年 二十、〇〇〇 日十四年 二九、一五〇 明品 東北代金一五、五〇〇 一九、五七〇 記職金 一九、五七〇 一九、五七〇 三、七五〇、〇 四、二、〇〇 四、三、〇〇 神電氣 大阪電氣

事 分七厘五を六分に引上げ利 不 一、鐵道收入で支拂不足の場 (資)で (資)で (で)で (で)が (

、元金一千萬圓の利子年六八百萬圓を債務總額とす、元金一千萬圓、延滯利子

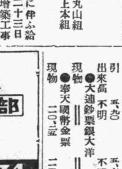
製の資金は預金都七百五十萬 日頃職京の豫定であるが右借 のである、尚氏は廿七

官民金融懇談

重要經濟問題協議

四月一芸日前場)

阿曽の



本寄 上海標金 本寄 上海標金 本寄 上海標金 大連金砂票 明 十入日限 本月 152、20 152 20 1

式 場

A

堂殿。覺味。誇。價安覺感的代近

備設の場球撞

春。洋服・オーバー類

替ズボン各種あり

六

٤

すま上願用利御約豫御非是



十月四◀

さた さた ささ

1、金 五 百 圓 券 (一〇 六 號) 十株券壹
1、金二百五十圓券 (自一〇七號) 五株券四
1、金二百五十圓券 (第二〇四號) 五株券四
右株券紛失候に付き爾今無効と可致此段廣告候也
昭和十年四月二十四日

四 トシ、風ニ物、掃屋全其、コ、 得天射及品倉除外部ノ住ト施漕

当の重

况

昭受其指察査内京新和クノ定官前居民

本人/都合二里 仕候 新京 ダ / 退店致少 P 候田

天1 二商 *

一付御承知相成度此

壁

材

品 價

優低

良廉

9

*野 ≒店 塗

塗 用川下

塗

用

各種

小松製

衛生陶器

是 建築タ ル類各種体裁良

は

業株式會社(株券)

貨炭 通 電話二七六〇、 防

大大七八、 三一六九番

●場工定指省道鐵軍海陸● 社會式株油石善丸

四月二十日ョリ(八島小學校前) 古順洋行內"移轉致シマシタ相變ラズ御引 立願とマス 一個 一十日ョリ(八島小學校前) 中華 あ げ よ能率忘る 15 はれ 43 か | 胃腸をこわさ| . 30 . 50 1.00

2.00

医家 病 9 推奨 薬 व の選定 ま 複方 各地薬店デリ

頭痛 チクチクー ぶく ツキツキーぶく、 破れるやうでも 0 1 0 COST F12

支 那 三日 于時 千年來古典 典日 藝ョ リニ 術 粹九 H 7 殿デ 堂 五. ! 目日 滿前 西 新 新 午後八 和時 提デ 機 緊 Open Live 漆 之

礎

石

0

数 術 ! B 滿 蓝術 海 然 融 和 提

古

電話 六 六 二點

四之 六碳

番

四石

支 品品

那 Ξ 千 一千余点 年 來 主會 體場

南州女藤堂美術部 党 幹 之 殿 堂

質二十共刊朝夕

酸行所

時訓滿雪

拼程的

. . .

智謀 定事

皇帝御還

原の

奉迎準備决定

第一方まい酒。御用は定評ある

(ワシントン廿四日愛國通) 電大化に微し海軍縮少本會職は全く停頓の狀態に陷入つた く語つた は全く停頓の狀態に陷入つた く語つた く語つた に到ったものと解さ おいま は全く停頓の狀態に陷入った く語った 年内開會は望み薄

日六十二月四年十和

が米政府電局でも歐洲の情勢 米政府は一九三五年内に海

は急激に薄くなつて來た は急激に薄くなつて來た は急激に薄くなつて來た 第三課、〈・ジァ及び歐洲一 類、一課、〈・ジァ及び歐洲一 類、一課、〈・・ジァ及び歐洲一 の即ち(南洋、太洋洲、アフ の即ち(南洋、太洋洲、アフ

務管掌に多大の效果あるもの 護大張化され機能充實並に事 で通商局は右改組により

事務分掌を地域的に

通商局の大改革

亲厅

重新の刷新を企圖して豫てより來栖通商局の大改革を斷行する事 り來栖通商局長を通じて具 が、二十四日左の如き草案成 が、二十四日左の如き草案成 が、二十四日左の如き草案成

第一課、

商政策の確立

一、地域的に事務を分擔せし

日蘭海運會商

の為職朝中で の為職朝中で をの如の語る

任の途についたが 十時安東通過 Aひ であつた谷参事官

開印政府の輸入制限緩和か然 り局面を打解せられたき旨を 申入れた

常たの地

ゐる事で各方 ムが日本を非

面の人が一

安田善四郎

いくら排日を叫ん

る、時期は

開催される運び

會商地問題で意見の背馳

17

今次の討伐は

貴重な體験

靖安軍藤井司令官語る

藤井司令官は赭顔を輝やかせに歩武堂々現験に凱旋したが に歩武堂々現験に凱旋したが

期待出來ることだ

今日之は非常に要人も親日に目

進み大アジア

宮部海邊隊長

土肥原少將 軍司令官に復命

止期檢閱

及び條約の締

となった即ち現在通商局の事

のとほりであつたが今回これ

再開困難に陷つた

機能の充實强化が期待さる

第三課、商報對内關係に關する事務

課長の會議制により決定す一、一般通商原則は局長及びめ

時局談を試みた

歐洲政局の重大化のため

ら、審議會官創其他が樞密 ち、審議會官創其他が樞密 ち、審議會官創其他が樞密

回の赤員會開催は五月十日氣に諸工作を進めるが第一院を通つてからは政府も一 で質している。 で質し、 で質し、 ででである。 では、 でである。 でのである。 でのである。 でのである。 でのである。 でのである。 でので、 にいるで、 にいるで

日暹の提携成れば

支那も大同せり

歸滿途上の谷參事官談

各分職分局の定期檢閱のため島、西海口、復州、旅順安東

質業家と懇談へ

交通部

(ロ)民政部前廣場に於て(ロ)民政部前廣場に於て(ロ)民政部前廣場に於て時五麗等迎煙火打場時五麗等迎煙火打場時五麗等迎煙火打場時五麗等迎煙火打場

廿四日より二十九日迄一分

蔣介石重態說

外人侍

醫貴陽

へ急行

者と六十餘名の負傷者を出るまれ三十五名の尊い犠牲この間幾多の陣中美談が織

一、新京特別市公警 場が左の如く決定した 備が左の如く決定した 歯簿御通路上の大馬

言、ラデオ放送 御着模様及び率迎實況を放 選する外午後六時三十分よ **新京放送局**

五厘以上料 帝御發當日

念切手及記念繪葉書を販賣

同は驛ホームにマ 警衛豫行 御還京の

べを催し率迎奏 みなして當日同様の御警衛の 皇帝陛下御勵還の御召列車と 記事と

時半から驛前、驛構内に署員際兵その他關係者を派して同時半から驛前、驛構内に署員

樂及び金新京特別市長の率一豫行演習を行つた

した事は残念ではあるがから、 をなつたことをもつて英國 をなつたことをもつて英國の人群 をなったことをもつて英國 をなったことでせう、今本 をなったことでせう、今本 では、今本 では、一層関軍の成果競揚に一 の期待に副ふ覺悟です

方 清酒 黑於龍 特約店 采酒 西村洋 行 電話[出版]

是非

一度!電話で御用命を 一度の御晩酌で御満足!!

キット

就任の誤補に付訂正 電中、寶來氏與銀總裁に就任とあるは副總裁 離京することとなった

> 0 廣

> 告

0

用

命

は

…電話三三〇〇番へ

0

專

中

雷 心に兒童愛護遇 心に兒童愛護遇



死に各種の行事がなさ 変護についてはその肉身たた▼第二の國民である兒童 で年一度とし見富のための愛か本年からはこれを一緒にし **秋に乳幼兒愛護週間と兒童** っである▼この催しは年々 内地と相呼廳 て滿洲各地で

ことが世のため國の



新京驛より 浴室スチー ムの設備あり寢具大淸潔御家族連の方便利なり

取つて唯一の遊び場所であ うが子供のための施設とい 小舎が二、三ある程度で い事情にもよるであら 特賣 お買求めの絶好期 以下景品總當り 開間出資本 張 所店店 アナ五建

曜 金) 競七十九百三千四、第 (日) 職庁る管な個大正五年以来置かれておっております。 すった、 偽近日中には新しい手洗鉢が参道右側古鳥居の手間に据えつけられ支垣もと り組み立てに落手してゐたが二十五日完全に贈え の大鳥居建っ 先に到着した新京神社の大石鳥居は去る二十三日 「東京國通」過般來朝せるハルト關印經濟長官の斡施により日關海運會商再開の氣運が動き始めたが、ジャワチャイサ及び広、P、M 兩社は會商時開の主旨には賢成なるも會商地を日本とする事には絕對で行ひ度き旨を申送つて來たで行ひ度き旨を申送つて來た 電代表有属含吉氏外十三名は一種質易調整交渉に関し政府を開発を対し、 當分再開される見込がない 企業海運部は强硬な態度を持 企業海運部は强硬な態度を持 蘭印貿易調整に 善處を要望

國新內閣

軍樂職等多數の歡迎を受け

作ら左の如く語つ

力を競揮してこゝに目出度なる後接と部下將兵の根弧なる後接と部下將兵の根弧なる後接と部下將兵の根弧なる後接と部下將兵の根弧がある後接と部下將兵の根弧がある。

部光利氏は北部光利氏は北部

出しに盤山胡廬 事情に就き復命する處あつた中六日より營口海 ひ支那視察狀况並に東上中の一海邊警察験長宮 前軍司令部に南軍司令官を訪

ては殆ど見當らない

過酸を振り

陸海空軍

ノラノン博士

を切實に希望するものなる

再び公文書翰を

は既に本地

(6-)

四再びサ國外交線長アラホー 開始すべく親書を送り世界列 開始すべく親書を送り世界列 國新内閣の成立並に友好關係氏は満洲國謝外交部大臣宛同 日の法令を以て左記の通正で當國の最高權を新大統領に法令上の手續きを經で當選したるマルチネ將軍に受護したるを以て今般新大統領に出会しの手續きを經 満サ間の親善益々緊密

来た書翰釋文内容は

外交及司法部次長

大長 アルバラド博士 カルデロン將軍 內務、翻菜、農業 教育次長 ロボ 財政、公債、工業及商業部 財政、公債、工業及商業部 財政、公債、工業及商業部 敦濟及衛生部總

農業、工務、アヴイラ博士

ル共和國外交額長別州帝國外交額長

右回答等本一

有本年三月

友好關係の基礎を强固にし 大臣の 悉今般貴國新内閣成立につき

重ねて関下に向つて敬意を右側通师等々本施長性数に 國の福祉を増進致度候 し協同の質を擧げて以て雨

洲國との

臣は今後貴我兩國間に存する特に御通告有之深謝仕候本大 なにか喜ばれることであらう

▲ 筑柴熊七氏(滿洲國◆叢) 二十五日午前發牙、 ● 水井四郎氏(黒龍江省總務

商ン同ハルピンオ 高田服養氏(の)同 高田服養氏(のルピンオネ のののののである。 ののののである。 のののののである。 のののののである。 のののののである。 のののののである。 のののののである。 のののののである。 ののののである。 ののののである。 ののののである。 ののののである。 ののののである。 のののである。 ののである。 ののでる。 ののである。 のので。 。 ののでで。 。 のので。 のので。 のので。 のので。 のので。 。 のので。 のので。 のので。

な事件を屢々惹起し、一般の の事件を屢々惹起し、一般の 入山して居た北端公司はその 造材、減鐵に納入契約の下に 順地方に於て主として枕木を に廿六日正午新京驛鑁列車で安東へ赴く桝谷領事夫妻と共 澤前新京總領事夫妻は新任地駐米大使館参事官へ轉任の吉 り使役する事となった 來入山し居たる日滿蒙人從業負はしむる事となつたが、從 盗伐材賃金不拂等治安を害す松業員に對する契約の不履行 枕木納入契約の司の 吉澤總領事夫妻 満鐵で取消す 止午離京

八酒

生一

一升二圓四十錢

(品質宜傅のため大特價提供)

タゾ 新京大和通東一條通角電話六三四七番

近江 洋行 中谷耕甘富

青年學校制度の要旨

一滴工協會

青年學校制度の

實施につい

香華低波、英國の對支に北た重要なる事實は、北た重要なる事實は、

京滿鐵綜合事務

目衛經濟から

物一萬二千圓を以てバラック 地方事務所(中央通會館)跡に 新築される沸鐵綜合事務所は した、一方新築中の移轉先と した、一方新築中の移轉先と した、一方新築中の移轉先と

ク 趣理の各係がこムに當てられ を 執るはずで目下のところ正副 と 執るはずで目下のところ正副 と 執るはずで目下のところ正副 と 執るはずで目下のところ正副

各係は臨時引越し

假事務所は二箇月後に完成

等(各通)

【延吉支局發】去る五日より ○守備隊は爾来峻嶮なる山岳 地帶古服し頑强に抵抗する小 地帶古服し頑强に抵抗する小 地ので、大小荒神、仙洞 方、屯田營、大小荒神、仙洞

稅務監督等屬官 稅捐局司稅 官

富岡

給六級 本 本 本 本

正治

給 地設管理

地畝管理局屬官 諏訪

の延長内容の充實等制度上に 終ても失々改善を加へ以て在 減青年教育の進展充實を期せ んとする趣旨に外ならないの である

ソ聯國民の

ラヂオを没收

の通りである

稅務監督署屬官 篠永 三郎

一登

給月俸九十五圓 (各通) 給月俸九十五圓 (各通) 粉月俸九十五圓 (各通) 地畝管理局屬官 長尾

給月俸七十

展東方面において四月一日よりラデオの遠距離受信を担絶し六日から委員が各家庭を訪問して遠距離受信器かの没收に當つてゐる、但し高の政に當つてゐる、但し高い。

大森縣

金銀市况制 (四月芸日後場)

新三級俸(各通) 給三級俸(各通) 給三級俸(各通) 給九級俸(各通) 地畝管理局屬官 地畝管理局屬官 地畝管理局屬官

灣代家屋等百數十棟に達して

李樹鎭の火災

率天省公署事務官

為月俸九十五國 專賣總署屬官 渡邊崇大郎 給五級俸 大倉 助 大倉 動 大倉 動

營口水產局技士長谷川

信

轉任民政部秘書官敍關任七等 趙 振 磬

海為替

満鐵消組支部成立に反對

替相場 が、

第三回

第一回

第三回

三九弗二芬四

春一線の芝生

ルに流れるメロデ

1

の床しさ

新京取引所市况 等 身 田來高 物(一石値段) 物(一石値段) 賣廉譜新月五

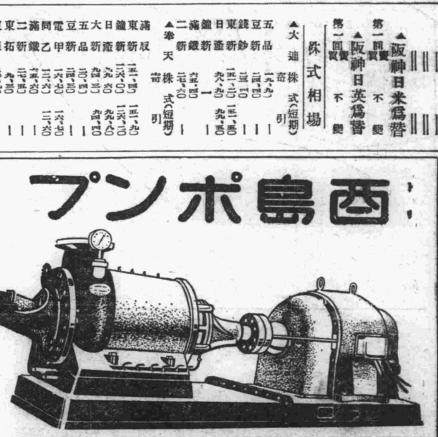
連鈔票銀大洋 九八七六五現月月月月日限限限限版

●廣告の御用は電三三○○潘へ ◇大連=在庫在リ

酉島製作所大連營業所

海軍指定工場本邦唯一の専門工場

土 灌 水 道 用 用 用 用 空中 水 排 鎮 山 用 化排鑛



外交部政務可長 納四級俸

松田 令輔 松田 令輔

財政部稅務司長

財政部理財司長 司法部民事司長

司法部刑事司長

四

內案御

完璧 洋

レコード演貨曲は大の區分で… 賑爽淋 一 情變 奇神 面抒

電四九六〇番

前 辯護士即六等 判 事

迅速 引 地寅治 電話二二七九番

九五十九番

廊 山村疊製作所 總 頟 事 館 西 隣

建三經祭 請 負 Ш 事務所口 新京錦町三丁目七 太 二正 太

錦

Ľ

n 木第第第

●滿洲國地圖● 魚釣道具が種へ到着致しました 吉野町一丁目 其他 商

賣元 林洋行文具店 話 ホホニ ホホー 三三六 五六五

文具の御用じ の改正のみにては

帝陸下御醫薬のため十日前後 に 延期 行される強定であつたが、島 行される強定であつたが、島

満洲の安寧

民政部總務司長

主管しまする我が民政部と致 主管しまする我が民政部と致 大なるを痛感するのでありま 大なるを痛感するのでありま す、從つて緊察方面に於ては す。

の混亂收拾の爲領事館では辨 より岡門小學校に於て施行の行した岡門內地居留民人民會 尚誤奉は來る廿八日午前九時【岡門國通】麤に總辭職を敢 臨時選摹委員會を組織した。

指名選舉委員會組織

と が 意々 搬出期に至り此れ又 島省内の 森林伐採に附いては 共匪と連絡なくては伐採及離れる 関係上第二 医域は伐採停止 上 第一 医域を伐採しつ 1 あるが 意々 搬出 期に至り いれる

一帶の材木搬出を停止した
・共龍と共通なくしては搬出出
・共龍と共通なくしては搬出出
・共龍と共通なくしては搬出出

おおり同地駐屯中の三井指導官のであるが関係警察隊○○名は直に東南方砲台に據つて防職に努めている。

圖們民會混亂

民の利益保護を主とするものなどを含みあくまでも満洲農

柴保護促進のた

木材搬出を禁止

通匪の弊を一掃す

問島省第二區域の

北

滿

齊市駐屯軍

都合により五月上旬に延期

【ハルビン支局發】預絞沿線 の覆江公署初度縣る事官會議会 井 臨長 歸 臨 六、七日間開催さるべき豫定者に具る暴負者に創奮した 【ハルビン支局設】來る廿五

一方兵隊さん達も今日ばかり

内日鮮滿の小學校生徒の運動 りは奉納試合、餘興、更に市 りは本納試合、餘興、更に市 後々として燃え攬がり全市を 包むに至つたが、廿一日午前 た小城子驛日本守備隊裝甲車 の來着により願賊は逸早くも が変量した、尙急報により吉林 登場に於ては廿二日警務廳 大谷事務官を詳狀調査の為め

各種の造り物を出して一般觀に れた、此日營庭には各中職に民二百餘名列席し嚴かに行は られ匪賊の各處に放つた火 餘丁の外全部順賊に占據せ水曲柳の市街は北方の一部 健康第一

B

許佛





郊力大にして

危険なき

謝近火御見舞

性病

软柱下疳

あ林

婦人科外科

教派入舟町の

謝近火御見舞

敦敦

農商

會會

出浦医院

尿道挿

入藥の發明

淋疾は先づ根源を治せ!

於ける患者の苦痛は頗る苗大である。 おに從來の內服藥、洗滌、注入、注射、等にては、容易に、之れを死滅し麵く、等にては、容易に、之れを死滅し麵く、等にでは、容易に、之れを死滅し麵く、

謝近火御見舞

食

堂

內行皮言病

一番日

香三三〇〇個

流都ギネブ

人际生殖器派

185

新京出級所輩記二二一六番 泰天出級斯>韓國〇八九番 泰天出級斯>韓國〇八九番 大迪支湾豐公171一五一巻

やちゃ馬権八

謝近火御見舞

行

國產品

伊豆の踊子

廿五日二二日間

敷の八十パーセントに上り、失は二百五十戸即ち全市街戸

篇め此惨事に敷援する事が出 が出 が出 が出 が出 が出 が出

清多數を出し市民約三十名

この爲め燒死者五六名、負

化學的療法つひに發見!

が製されたのが、とのウラルゴールである(日英米佛 加製されたのが、とのウラルゴールである(日英米佛 間尿道内にて作用せしめ、しかも危険と副作用なきを 理想とす、しかし此の理想は言ふべくして從來實現さ れなかつたのであるが、多年苦心研究の結果、つひに れなかったのであるが、多年苦心研究の結果、つひに れなかったのであるが、多年苦心研究の結果、つひに れなかったのであるが、多年苦心研究の結果、つひに れなかったのであるが、多年苦心研究の結果、つひに れなかったのであるが、多年苦心研究の結果、つひに れなかったのであるが、多年苦心研究の結果でしてい、殺菌

◆◆◆◆ 十揚十五被三 総載行 増日一行 行 料指回一一

產波 身勳七等

えば県線的

疊の御

用

は

鵜殿兄弟商會

【延吉支局發】間島總領事館では左の日程により各地にお では左の日程により各地にお を施行することに决定した 五月一日及二日延吉領事分館五 第五日選春領事分館五 井練領事館

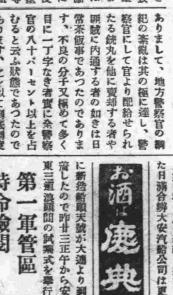
裏窓に敵せず、激職五時間のは和て阿鼻叫喚の巷と化したはれて阿鼻叫喚の巷と化した

鐵路總局が 消防隊を組

れる筈で目下準備中である 立して總局の消防組が組織さ 會、スマラン食堂あり警察機關あるが今回歸附屬地に獨 た、附近には縣公署、晨商政化義勇消防餘の二つの防火 舞合を七分通り燒いて鎭火、舞合を七分通り燒いて鎭火、 大混亂を來したが日 完備する敦化防火線 原因損害取調中出動警備についた

本地物に追撃砲一挺、重機闘 ・大曲物に追撃砲一挺、重機闘 ・一旦を焼きつくし更に戯院に ・大曲物に追撃砲一挺、重機闘 ・一旦を焼きつくし更に戯院に ・大曲物に追撃砲一挺、重機闘 ・一旦を焼きつくし更に戯院に ・大曲物に追撃砲一挺、重機闘 入時半ごろ東門内常設戴院慶【敦化支局設】二十三日午後 新船順天號

八隻を増し夙に組織を擴大し船部の買取なつて一撃に汽船



東三道浪頭間の試棄式を擧譜したので昨廿三正午から 特命檢閱

(#

警察隊○○名を率るしめ拉京

敦化の火事

金)

横山部隊の

三井指導官の奮戰

である。

|使用すべし、

ウラルゴ つく力。入の性でラルでなる。 ないでは、 ないでは、

ウラルゴールの効果と使用法は次の如し、一本にて長時間、連續的に殺菌作用を有する

に引続き長管十本入を使用すべし。 とい、或は敷年にわたる固疾慢性症に對しては、 の或は敷料にあたる固疾慢性症に対しては、 の或は再致は最初に短管十本入を使用し、 をは、或は再發は最初に短管十本入を使用し、 をは、のは再致は最初に短管十本入を使用し、 を使用すべし。

必道内の淋菌を死滅せより

之れ淋疾を根本的全治に到らしむる唯一の道である。 使用に要する時間 殺菌作用連續時間 一本 三時間より六時間 僅か 本或は二本使用すべし。 二、三分

同十本人(製作及再級用) 中醫十本人(與子機性及再級用) 中醫十本人(與子機性及再級用) ウラルゴールの種類と價格 8 から 〇円七五 円板口 - EOO

發 青元 OOTH 対して、
 対し、
 対し、

文×××××前日五十七 賣買、周旋紹介、公認

新京土地建物會社

長四人二人番

土地、家屋、賃貸借

安全にして危険なし である。此點もまた、ウラルゴールの大なる特長であず戦にて副作用がない、使用法も頗る簡單にして安全的対菌其他の汚物を後部へ移送する危険なく、また無を対菌其他の汚物を後部へ移送する危険なく、また無を水の局所療法たる洗涤、注入、棒状座藥等は危険と 情景調しつ A 新聞、連續的 に 教護作用を督みために、却つて尿道粘膜に 不等に分布を高し、徐んめに、却つて尿道粘膜に 不等の 別末とし、と自む色素劑とを、化學的に結合して粉末とし、と自む色素劑とを、化學的に結合して粉末とし、と自む色素劑とを、化學的に結合して粉末とし、と自じ色素劑と、化學的に対象の、物末は尿道薬 、日優くべし。 別で日にても可ご 別管一本を

八二一番に御架管を乞ふ石賃貸す御希望の方は電話五一、寒 室 六叠間一、寒 第 六叠間

似

新

京キネマ前

製本專門

支本

三笠町三ノ九

食室 新京ビル二階十五 金六十圓 新京 ビル 電話六二五二番 女中 中 画動ニテモ可委細 公債、株式現物問屋 重新京**米** 三省堂製本所

あんま 東二條通り備南渡る加東二條通り備南渡します。東二條通り備南渡る加東二條通り備南渡る加東二條通り備南渡る加東二條通り タイピスト

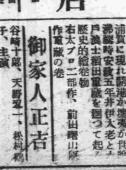
被 尾 度有經驗土木建築 姓名在社

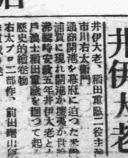
看護婦附添婦家政婦親の温順な人を借斡旋を主す朝日通り人と東亜電 日本タイプ 综合教授 水乗町一丁目のメイヤ巻) 金融商舎門 日本タイプ 総合教授 本書の舎門 日本イント 単六二九五番 **オジアの靴** 千代田の靴











田重歐二役主義

三笠町電話四九三七番共榮社町日浦日本タイプライタ會社

る御問合は、電六人の二番時代という。

新京三笠町コノナ四横八赤玉カフェー西横八

其引市內海 他越內地陸 一荷運仲運 般物搬糧輸

御用命下さい。低脈に運殺致します。

商開港や幕府に迫った米典 製・安政五年井伊大老と土 製・安政五年井伊大老と土 製・安政五年井伊大老と土 製・安政五年井伊大老と土

仲運輸新

员合座

二十五日 より 日活特化 小襷金三郎澤田高圭演 原作日本赤十字社、田口 を

公嗣連載小戲、吉川英

謝失火御見舞 興 舞 臺

特別廣

N. T.

U. 503

APP B APP

出安語

謝近火御見舞

化縣公

署

用類間三ヶ月) 用類間三ヶ月) 用類間三ヶ月)

6

四人 なるユニカー カイズミュニ



注意すれば治る 赤ん坊の夜泣き

赤ん坊が夜泣くといふことは 非常に意味のあるものです、 か、お腹がすいたとか、退屈 か、お腹がすいたとか、退屈 がしやうがないとか、どこか でしゃうがないとか、どこか 多くは病氣からです

では、つまり赤ん坊のどこか に異常があるからです、それ とが子供の観音に見せてそこで に異常があるからです、それ とが子供の観音上大切なこと はがですがそのねむりが足り ないでねむれずに泣くといふ く適當な醫者に見せてそこで のは、つまり赤ん坊のどこか 「原因をたしかめ治療を施すことに異常があるからです。それ とが子供の観音上大切なこと はたいてい消化器の方から起 です、値の意味の夜泣症なら 母乳で育てる赤 ものですから大した心配はい りません

帶

締

7

の上手な結び方は

からきつちりと合せます

一服ノ御用へ

技術優秀

日六十二月四年十和盟

A

0

しかも日本色を出すのは非常 がまはしとが、洋樂他は全都 が表明で長唄を洋樂に合はせ

がありますが、ちょつとしがありますが、ちょつとし

分の二枚に合はさるところ

のしないものです

新京出張所又洋服店

手の部分には、

新

京高

(夫)

本…帶を上手にし あるはには帶の 地質について注 意することは勿 論ですが、帶芯 のを用ひること はいけません にセルロイド製 にセルロイド製 のもので挟む方 のもので挟む方

羽職を脱いだ和服美は咖喱

ム…帶あげはこの頃よくゴム

△ …お太皷の美しさは手の部分にあるのですから、手は相當に長くチャンと出します、その中心に帶止めをします、この質に伸止めをします、この質の帶止めが見えるのは垢で充分間に合ひます。不本で充分間に合ひます。不

レストラン

ランチ(二皿 65錢)

デイナ(一皿 50銭) 其他飲物等ハ 價格 低廉 宴會ハー人前

國幣2,50ョリ出來

る人にも

П

隨

時

往

電話二五二〇番

需

=

應

ズ診

丹

內小

兒

電三三〇〇番

一寸巾の五寸位のあのを用意は木綿の布を用ひます布は へ

に難しく、私達にはわからなはこゝになみくくなら以苦心があつたのでした、文はレビがあつたのでした、文はレビ皆流線型洗線美を主題にし、一貫した筋はないが様々な流がを所に取り入れた面白さがある。 まました。第一場から第十二 ひました。第一場から第十二 ひ

て、爛漫の豪華舞台を現出すが、春筍に更なる裝ひを加へが、春筍に更なる裝ひを加へ

い、長春座「伊豆の踊子」は本立だが二番線級の寫眞が多

に寫眞替りである、 二館共三 新京キネマともに廿五日一齊

人氣を煽つてゐる

のと越が變つて良かつたと思めと越が變つて良かつたと思

電和は左の通りである (第一日目)一、長唄「供 に、長唄「麓・娘」四、長 三、長唄「麓・娘」四、長 三、長唄「麓・娘」四、長 明(新曲)「五月雨」五、

番二九三五話電往行中的京新

2

田田の名畵、新京キネマ「お ・一代傘」は「婦人公論」連載 ・「婦人の觀客に受けることだ らう、帝都キネマは「ターザ ので類をは、一般受け、特 は「婦人の観客に受けることだ

H

小馬物

うでなる散色な型しあ16先き割はいらかはVはてり、型でがままれています。 漫黒ゆ用黒字ラる、型でがます。 変形をあるアプラスを表する。

たちの

プアラマア! ピスケット・

オヤチャンニ ヤラナイデョカックフ・アンナニ沈ンデマッタラアシ 揚ゲラレヤシナイ、ガメテ合ッタフ!

粉ふき馬鈴薯を添へます。 南面をよく燃いて皿に盛り、

▶目科業營◆

械 造床敷替叠

初夏へかけて

玉

商

新型短靴

アタンか 始メテコ サエタひすけっと! 時気ニムレバ イイガ!

あつさりした喜歌劇で、主なは唯呆として了ひました。次

泉として了ひました。次れた舞踊と美しさに私達

天津乙女の洗

て来るのです我が消鐵のアジスへのない。す、それらの各々から大空ひろみや春日野八千代等が現れ トラフイツクに於て、最近の 暗呆然と見とれるのみでした 唯呆然と見とれるのみでした に私達は 凡ゆる流線型交通機闘を使つ マも登場したので嬉しくなって来るのです我が満鐡のアジ 報の如く今廿六日から二日間新京花街連中春の溫習會は既

ました。五時半頃終り、其の後は自由に御食事をして七時頃の阪急に乗り、大阪へ歸り頃の阪急に乗り、大阪へ歸り、山悦子記) 1かつたのは最終の場面です 舞合一面の優花の中を、櫻色 衣裳の櫻の精が大から大と。 人も出ては、花吹雪の中で踊り狂ふ麗しさ、次第に紳士や 流線型の踊り子も出て來て、 ずらりつと並んだ美しさ。絢 関とは之を現す爲に作られた と思はれる様な、一同恍惚と 株紗子、大空ひろみはとても 歌の上手なのは明津麗子、櫻 のと手なのは明津麗子、櫻 いて書いて見ると、や 春季溫習會

今日から

公會堂で

やつばん 奴」七、長唄「吉原奎」人 「山姥」十、清元「花かたみ」二、 清元「玉鬼」二、巻八 一、清元「花がたみ」二、 清元「玉鬼」三、長唄「新 曲百夜草下ノ卷神田祭」四 時間で変事」六、常盤津「栗 が、七、清元「宿盤津「栗 長唄「四季の壽」五、長唄 「道成寺」六、常盤津「栗 長唄「四季の壽」五、長唄 「当成寺」六、常盤津「栗 長明「四季の壽」五、長唄 「当成寺」六、常盤津「栗 長明「四季の壽」五、長唄 「当成寺」六、常盤津「栗 長明「四季の壽」五、長明「新 は、また、「第一八、 長明「四季の壽」五、長明「新 は、また、「第一八、 長明「四季の壽」五、長明「新 は、長明「五色の糸」



《意興は「鐵路」の「シント)

三千年來古典一日時本月二十五日

藝術道

神之 殿

堂五

日間午

補前

八時ョ

海リ

午後八

マデ 稳

뾉

5

禁

之

酰

石

支 那 出三 品千

年

余点古

主會

催場

南井文藻 堂美術都 記町二丁目於太子堂 東 粹 之 殿 堂

1

H

满

佐

術

渾然

電和話提

六密

二〇三

四之

六酸

四石

番

六

唸を生じ 覺で立 鰻か 三等三 2 井 青 葉

食道樂

(1) 言言而

备五一四四表代話電(游南社神)通典中京新

61系サンドウエッチ洋華平華館飲物車節業物 ● 和洋食業山前出張市師理数シマス●

40錢)

ザクスカ (三種25錢) 御輕食い價格低廉 心付ケ ハ御辭退シマ

カフェー

トーキーシネマ 撞 球 場

マスサロン 及ビジャズ パンドハ 母夕 七時 カラ始 メマス ホテル専屬娛樂場 童 球 塩 紳士淑女へノ理髪所 ★テル事務員へ露語。英語。日語。滿洲語ヲ解シマス が何よりも御経済的でお買入れ 家庭の人にも

てもないと

栄養工作の力

11

百部屋ノ中五十部屋ニハ各々風呂洗面所が附イテイマス部屋代ハー日ニ付キ國幣1/50ヨリ御在イマス









出を見ようと急いで甲板に出 たがうらめしく 小雨がしと へと降つてゐる、期待して るた水平線上の禁酸な日の出

タッチはキルと同じ概にジャ る、トスされたボールをボー の方に向ひ相手のストップを 体はジャンプと同時にホットに近く其の上に低い からストップされ易いので成 からストップされ易いので成 からストップされ易いので成 からストップされ易いので成 からストップされ易いので成 からストップされ易いので成 からストップされるいので成

そのウイークポイントを衝か おばならぬ、前衛同士でタッチ の方に向き易いが中衛又は後 御から来たボールをタッチす あ 衛から来たボールをタッチす い 前衛同士のタッチのトスはネ い 前衛同士のタッチのトスはネ い 前衛同士のタッチのトスはネ マトより僅かに離れ、二尺程 フトより借かに離れ、二尺程 フトより借かに離れ、二尺程 フトより借かに離れ、二尺程

▲ 株式の駒一枚をめぐつて、 ・ 大変の「間違ひ採用」田中比 を見の「健の観常」と住作 を見の「健の観常」と住作 を見の「健の観常」と住作 を見の「はの出」の理 ・ レングングン

● エハー三 新聞

覺 味 的 典 古

中電叉は後衛よりのパスされたボールをタッチする場合のトスは丁度ボールがネットの上に來る様に擧げて少しネットより高く決して低いボールを擧げてはならぬ以上の如きトスが上つても之をタッチする者は如何なるかり、以上述べたのは普通のタッチ出であるが早タッチと云って来るのことで一致しなければ良いがトスサーとタッチと云って来るからない。 がトスサーとタッチと云って来るがトスされざる前にジャンピで一致しなければならない。

皆油味噌は

りの人や不夜城の如き神は盆々盛んになる は盆々盛んになる

部を見るとまだ五時半、日の がは大低超きてゐてまだ寐て あるのは僕等だけだつた、時 ※ × ×

排球に就い

を鰹い寒息を立て、 るる者もありボソボソと話をしてゐるかと耳を傾けてゐたがその話聲もいつしか

清州國官更同好者からなる。 一個風吟社四月勾會の詠草、 一句題は柳、雲雀、春等々で 村公會を大屯娘々祭々場で はことになつてゐる、参加 を宝で集合のこと一般参加 を歌迎する

「ボーボー」と我等を乗せた

だけである
甲板を降り寐ようとして船室
に闘つたが蒸暑くて到底寐ら
れない、再び甲板に上りほて
つた顔を生ぬるい潮風に吹き
さらしながら口笛を吹く……
長途の旅行もいより〜終局に

無き好成績を收めた 十三名の多数に昇り未だ曾て 無き好成績を收めた

一、期間 昭和十年

出來ない、殊にこのやうに静 ではなをの海を航海する時は一 ではなをの海を航海する時は一 ではなをの海を航海する時は一 ではなを見ひ起してぞつとする、 を思び起してぞつとする、 が出て來るやうな氣がして海坊主

満洲文學の 步前進

同風吟社

四月詠草

新

京

商

の月とかすかに見えがくれし船にあたつて砕ける白波と空

界展室の

工武道

てゐる漁村の灯だけが見える

中井亮は危

学物を活けたる壺の青き中 古風 ひるし り吹えてはたとやみけりご の青き中 の

京句會

鬥熟

沁明

その「ソ聯經濟危し」を許す

あたりの演説と、あとはイアといべ論ずるといふよりデッチ上げてあるのだが、その引用といるよりデッチといるは、モロトフルイコフとしては、モロトフルイコフとしては、モローに論じてあるのだが、

この論文 は 切符制 度の 慶止ばつてゐるのだばつてゐるのだ 世間のジャーナリズム上の論議 を再用することをせず、ソ聯 に 間のジャーナリズム上の論語 中平の「ソ聯経済の現勢と に いやしくもソ聯経済の現勢と に 特來を論斷するには中平如き やり方では不足であるといふ ことを指摘するのだ、そして ことを指摘するのだ、そして ことを指摘するのだ、そして ことを指摘するのだ、そして るんだいし」と論断するわけで ある

楊雲雀土鎌摘む手をとめにけ の 場状女

たる - 本無事に通過する(高橋生) おあった事鳥が水中に首を入 んで行く、瀬戸内海の離航中 あちこちに魚を取つてゐる小 種々の形をした奇岩の関を船 名 包 古 支 本 屋 店 店 R 行 舘

テンプ ルジル京

一三回戦に破る 一三回戦に破る 一三回戦に破る 一三回戦に破る 一三回戦に破る 一三回戦に破る 一三回戦に破る 一三回戦に破る 一三回戦に破る 一三回戦に破る

大和通りでペッコーの櫛を かドラマ研究 音の佐々木ナ ナ子女史が酔 ナ子女史が酔

九年度柔道

界業績

日種品製 ノラニ陳謹 程相其者啓

見失ふまじと手かざす

ノ程ヲ願ヒ上候 敬 白ヲ相設ケ候間何分ノ御後援ノ程ヲ賜リ度併テ御利用ニ其ノ製品ヲ敏速ニ配給致シ度左記ノ場所ニ出張所

診療時間●

作用は**愛NNOOT**



ものでありた

▲山下好平の「日本の獅子武 勇傳』「鬼刑卓座談會」は 又々セットといふところ な竹の飯田蝶子が、眞向か ら「私の打明け話」と出た 映画女優の裏表も興味深い と出た は四村作の「日本の獅子武 の「稲荷娘の執念」と、こ



瀬さして芽柳の洲をひたし 郷さして芽柳の洲をひたし







日

五月十五日春季大祭

迅速叮嚀 表替裏替 疊 龜剛疊店 電話五三四六番 上町五丁目



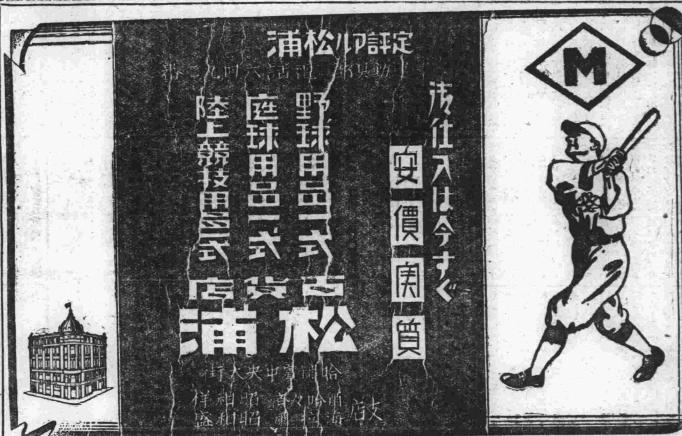
すまいざご山 糕 È E 店门東石宝 一部石宝会商間岩 番七四0三電 前局便郵通央中京新

は品産土御のり歸地内

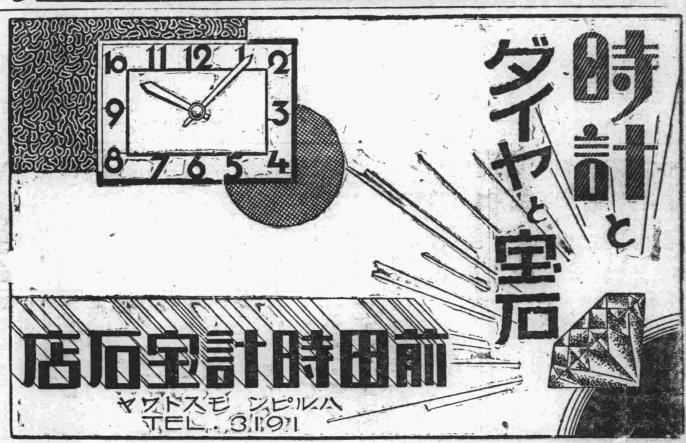
1













ルピン道裡新城大街一三三

金

物

所張出及店支

三錦富三新大東

州錦姓京蓮京

天 承 佳 鞍 奉 大

木 館津德斯山天阪



出来マスサロン及ビジャズバンドハ毎夕七時カラ始メマス 御駆食へ 俚格低景 心付ケハ御辞退シマス 木 テ ル 専 場 娱 場 場 トーキーシネマ 琉球場 ホテル事務員へ露語・英語。日語。 満洲語。 ヲ解シマス





(七)

無慮五千余のファン

の前に

息詰まる熱戦の展開

南風かほる西公園に

るやこの熱狂は頂點に達し、光と共にゆらくと燃え揚る、 埋めつくして球場は早くも期待と感激の渦を漲らせる、やがて颯爽たる 中銀ナインの英委が球場に現はれ此の上もなきコンデイションである、定刻前より詰めかけた無慮五千に達する大概象はス タンドから外野を 裔びて 丁滿洲國交通部大臣の手によって始球式が行はれ、肌白き處女球白線を載 なしか折からの南風正に卷き起らんとする 國旗の掲揚式が行はれる、終つて前年勝者鐵道軍淺香主將の手によつて優勝旗の返還、本社 ▲長代理松本編輯局長の開會挨拶あり、一先づ選手は散開する、時に職氣球場に滿ちて、思ひ 行はれ、續いて参加八チーム主將の手によつて 球場南隅に建てられた 棹頭高く より新装輝く西公園球場において争弱攻防の血陣を展開した、朝来の春氣球場にゆらぎて 金市ブアンの親狂と易奮を賭けて待暑の本社主催第二回新京野球大會は廿五日午後三時中 車を先頭に復興合、中銀、地方部、電業、新廳舎、OB、商業の順に時やかな入場式が 學校ブラスバンドの吹き奏す勇壯なる行進曲につれ萬雷の歌呼を浴びて前年の弱者鐵道 時に午後四時三十分! 見よ!本大會劈頭を飾る血戰中銀對舊廢舍の必殺陣が展開され 戦盛に魁けてゐるかのよう、 まさに易奮の坩堝だかくて定刻商業 かくする裡に再び起る喝采の嵐を 壯嚴なる日滿兩

會の劈頭を飾る 本の本壘打

中銀對舊廳含戰引分けごなる

弦成らず(舊)高橋左飛、山中飛、二木四球に出でしる二十四へ中)岩瀬一飛、梶原

合

△二十九日午後一時より 鐵道)勝者對勝者 南 樂 和方部)勝者對勝者 南 樂 和方部)勝者對勝者 中 銀 電 業)勝者對勝者 中 銀

の挨拶(下)スタンドを埋め の始録式(下左)開會式に於 の始録式(下左)開會式に於

込期をは

二十五日を以て締切せる通り觀櫻會の申

個

第一回歌中銀對竇廳舎の試合がドロンゲームとなつなためがドロンゲームとなつなためな大試合の取組、日程を左の如く變更した 会二十七日午後四時より 電業對新廳舎 本二十七日午後四時より 定することになったが當日は たは玉垣の寄附金募集その他 五日午 鳥居前向つて左側の植林内にいた結果手洗鉢の位置は内の 一後二時から機代會を開

今日浮浪狩り

試合日程變更

国つて乞食、容浪者の検索を に迫り新京場では廿五日午後五 習を行つたが二十六日午後五 時より七時まで附屬地一帶に 時より七時まで附屬地一帶に

新京保線區移轉 || | 一十五日から元新京像 | 一十五日から元新京像

鐵道對地

方

部

(「審判」赤木)

今日の試合

第二回新京野球大會

玉垣の寄附 その他を決定 きのふ神社總代會

内に募集することになった を區の翻當も終りこゝ二週間

賣特

商業寄宿舍に

全備一の鯉幟

▲二十七日(土)午後四時新京競 本二十八日(日)午前八時大 連着星ヶ浦で自由行動 本二十八日(日)午前八時大 連出設 本二十九日(天長節)午前八 時五十分勝京 大連に止まる事も出來 キうと会生一同製作に大童と なつてゐるが製作中の鯉機は 長さ約五十尺のもので五月一 日から管宿舍の屋上に元氣の

豊格招魂祭と観いて休みとなり末の三日が日曜、天長節、忠 組合銀行 三日間休業

市内長春座は今回の台灣震災市内長春座は今回の台灣震災

横領店員捕はる

関前科五犯のしたよかもので を積便逃走撫順署にて捜査中 を積便逃走撫順署にて捜査中 を積便逃走撫順署にて捜査中

開氏當選した

七五票票

平井政範

四球に再度機會至四球に再度機會至

古

室灣震災に

大年生は杏花村へそれぞれ遠

義捐金を醵出

長春座の美學=

爾鐵社員會の

評議員當選

樂にて費消したこと設覺二十

一斉に行はれたが地方事務所員補欠奨率は二十五日各分會

に上り全部城内五馬路新 地元シベリヤ学服店を 大り四月十四日までの間 大をらけた洋服を入質し 大をらけた洋服を入質し 大をらけた洋服を入質し

けふ遠足 學校では二十

半學校出發一年生は西公園、

空中實彈射撃に

白中の世界新記録

太刀洗飛行隊松本中尉の殊勳

伏 見(舊)小 林(中)

0 0 0 0 0 1

上條(舊)香西(舊)新田(中)

習に於て ンチの吹 一トル直經一米五十七 一トル直經一米五十七 一トル直經一米五十七 一トル直經一米五十七

日メートル約四十度のつて同選上にて同機の吹き流しを付けた偵察 星ケ浦の櫻花 た!唉いた!

自動車運轉手

る 脚並にピュー の出設に迫り 愈々あす觀櫻列車出發 期待に酬ゆるため、特に一般の 止午まで延期、申込みを受附 甲込期日を 二十七日

高山香深赤伏花井甘松田上天 西源木見滿上利田中城野

な早く驛(IIO一大)ピューは早く驛(IIO一大)ピューは早く驛(IIO一大)ピュー 種相と易断 近の休格檢査書を添付するこれが、と因に願書には必らず最たいと因に願書には必らず最 とになってゐる 近本る五月上旬頃自動車を近古支局競」間島總領事 白菊校の 小運動會 る五月五日 野校では來

で、季節の惠みに 薄濃艶の は

をたて見童の小運動會を催すの端午の節句には校底に健機 べく準備中である

ビンに修學旅行をなす 大室三訓導に引率されて來る 大室三訓導に引率されて來る 四度場六年生 新京西

電話芸士七十二

百命撰病家相結適 般名名氣相性婚業

廿九日歸京 總、終古川蓬四郎氏 事務引 長古川達四郎氏は二十九日 にいつてゐた新京鐵道出張所 一時三十二分着列車で正 定期試驗 麗 松 图10ZZ间面)Z9Z町规划









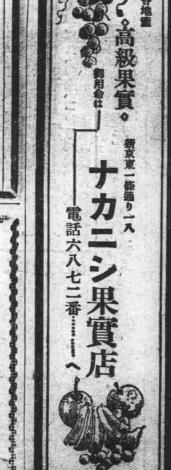
栃木縣人ニ告グ

一、**會費四圓五十錢**(富田御辞級の事) 電話二〇 V二 (太田 ソ三二〇三 (井上)四八〇九 (加藤) 三七二〇 (秋元) 三七二〇 (秋元) 御知を願上候 御知を願上候 一、來ル一十七日出午後大時ヨリ於割烹新京(富士町)左記ノ通リ春期總會開催可致ニ付奮ツテ御出席願上候

古

電话三六七七尚

加藤洋行 日本橋通り二五 語二〇三二番 事



客) 附 満洲中央銀行から今度國政部者俱樂部に對し立派な碁石、碁盤と將棋、將棋



明びながら、が一杯押して

其仲は、概室に信也を理ばせ

人夫らは信也を抱へて、屋町良

人夫等が、と

「打館かの」

一般のがに向って行くと、大勢の人をつきながら、そとらを歩いた。

朝髪を終へて、信也はステッキ

「や、とれあ家の御客様だ。とれ

人夫らが手短に遭難模様を話し

釈特なのだった。

から、急戦に突撃されたやう

能兵衛は、そとに昏倒した信也の 他を變へて飛んで來た。主の新井

の朝知を聞いて勢州後の主人が顧

大が車に大きな河石を積んで、

見野先生の所へ繋ぎこんでしれ」

完結後、改めて提出されんとと

大阪落城の草稿は、遺

(百二十六) (株計館)

院教城の脚本と、歌一覧の闘手紙 に鳴日のなだ歌一覧に手腰した大 竪朝信也は目を離ますと、枕許 正田 世 志秀 雪雄

ないでその手 使って、能れた信他の係に配 ん、盛かり」

脱ぎとつて、負傷箇所を購べたの一人が信也の意物を索早

他を上って、

「や、節は一つも無いぞ、打動

その一つが信也の太陽部をド

も知れん。手数は今の内だ。心理

信有級に呟いた。

これや郷をはい打撲像ちゃ、聴 「これや期々酷い打撲傷ちゃ、

結核性疾患、肋膜炎、氣管核炎、流行性感 國産 桂皮酸パラオキシ

フェニール尿素

化學的純品にして忌むべ副作用な く、作用緩和、徐々に確實に解熱 せしむ。價格極めて低廉なり (說明書進呈) 東京室町

三共株式會社



(先生に書へなかった事は既念

분

一な旅野州線まで一つ近り眺む

消化を催進し、食慾を増し、榮養を佳良ならしむ

御鬱者へかつぎ込むから、 戯いで何感の客人なんだらう。 兎も角

御醫者へかつぎ込むから、

タカチアスターゼは、比類なき消化酵素にして、一般チアスターゼと全く其撰を異にす。 (1) 澱粉、脂肪、蛋白質其他二十餘種の消化酵素を含有す。(2) 效力一定、永久不變。(3) 胃 臨内に於ける抵抗力强く、よくその消化力を發揮す。(4) 茶、コーヒー等の飲用により效力阻 唇せられず。(5) 食塩、醬油等により其の消化力は却て增强せらる。(説明書進呈)

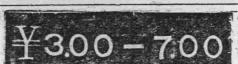
> (粉末・錠劑各種)

東京・宝町 三 共 株 式 會 社



中央通西公園前 の既五人〇三書

午前九時==午後六時



(日

つてきた。桜とも柱とも鮮んだとていゝか分らないやうな氣棉にな 取答いた。とのさき何うして生き 曜

意に大きな寂寞が信也の身體を

信也は思った。

信也は、前後不殿になって、

く員會ーロウビ。トスリウツ。ンパヤジ (ルテホトマヤ節)ルテホ際國 座銀ンビルへ)街道三國外°ヤカスイタキ°ンビル番ー 〇八五 表代 話 置



t刀 親 D寧 D丁

街ヤイダ 今宵の酒は

平安通一八番地

(本一生の灘)酒本日

(來 舶 純) 酒 洋

*太西 場



の

樂の追随を許さぬ-

0

日露丸

入院隨意」 院長 朝鮮人普通學的

引越運搬。御用は苦力配給。御用は

納人期日確實

苦力供給出張所 大津協立土木公司 大 中

中組

合符像 町一百六 七六一番

澳製造部 部

報次第見積に参上可仕候





であります。(舊名征露凡)は明治三十七八年日露戦役の際滿洲風土に適應すべく軍隊必携藥として創藥され爾來三十有餘年光 傳染病。猖 コロバヌ先の

定 □ 四五〇粒入 □ 四五〇粒入 三五臺貳 十十 五 錢錢圓圓

複方 ・薬店ニア



止は食後一粒 無アタリの方 原 病の方 の方方の方

有名薬店に在り

株式 會

日露丸と御指命下さい

近頃ニセ類似要あり

| 関ず全治す